

## 衛星データ解析による小麦防除適期予測サービスの開発支援

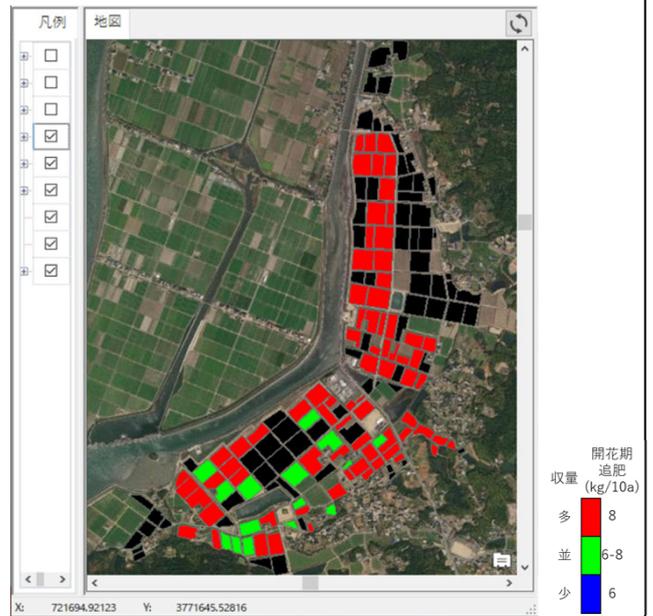
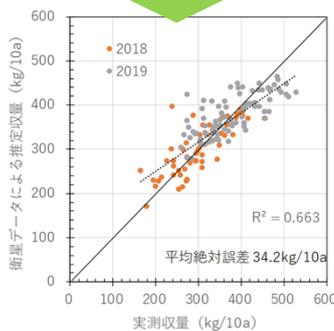
### ■支援の概要

小麦の山口県推奨品種「せときらら」は製パン用小麦として、冬季の農地利用推進と共に作付け面積が増加しています。製パンには高い子実タンパク含有量が必要で、それには開花期の追肥が非常に有効であることが分かっていますが、予想収穫量に応じた追肥量が実施されずに、低タンパク含有量となる場合が多く、衛星データと気象データを用いた開花期及び収量予測サービスが必要とされています。そこで、このサービス開発の技術支援を行いました。

### ■支援の項目

- ①衛星画像入手、画像解析に関する技術セミナーの実施
- ②課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデル実証プロジェクト(内閣府)の進捗支援
- ③山口県、JA山口県(宇部統括)との連携による実証実験

衛星データを活用した小麦収量予測モデル



衛星データを活用した小麦収量予測マップ

### ■支援の成果

- ①衛星画像の入手・解析技術の習得
- ②2022年11月に小麦防除適期予測サービスとして商品化